

ねらい

学校は、「学校づくりビジョン」の進捗状況を把握し、その達成に向けた取組や教育活動その他の学校運営の状況についての自己評価を行うことにより、学校経営の改善をめざしています。また、自己評価結果や改善方を広く公表することにより、学校に対する保護者や地域住民等の理解を求め、保護者や地域住民等に信頼される開かれた学校づくりを進めていきます。

現状

※ 下記の表は、学校評価と情報提供の実施状況調査(平成18年度間)
 文部科学省調査 対象：幼稚園24園、小学校40校、中学校22校
 調査時期：平成19年12月

- 自己評価の実施について
 - ・ すべての学校・園において教職員による自己評価が実施されています。
 - ・ 中学校では、自己評価結果の保護者への公表が進んでいます。
 - ・ 保護者や地域住民や関係機関職員等に自己評価結果を公表している学校では、学校だより等に自己評価結果を掲載して配布しています。
 - ・ 保護者や地域住民や関係機関職員等に自己評価結果を公表している多くの学校では、今後の改善方策についても公表しています。
- 外部アンケートの実施について
 - ・ 学校づくりビジョンの重点目標の達成状況等について把握するため、すべての学校・園がアンケートを実施しています。
 - ・ すべての学校・園で、保護者を対象としたアンケートを実施しています。
 また、ほとんどの小中学校では、児童生徒を対象としたアンケートを実施しています。
 さらに小中学校では、地域住民や関係機関職員等にもアンケートを実施している学校もあります。
 - ・ 外部アンケートの実施にあたっては、児童生徒、保護者や地域住民や関係機関職員等から、率直で、より具体的な意見や思いが把握できるよう、ほとんどの学校において、匿名性の担保に配慮しています。

自己評価の実施について

自己評価の実施に関わった人	幼稚園	小学校	中学校
全教職員	23	39	21
一部の教職員のみ	1	1	1
管理職(校長、教頭、事務長等)のみ	0	0	0

保護者に広く公表	幼稚園	小学校	中学校
広く公表している	4	21	19
広く公表していない	20	19	3

保護者への公表の方法	幼稚園	小学校	中学校
ホームページで公表	0	5	6
学校だより等に掲載して配布	4	21	19
直接説明する機会を設けている	0	4	3

地域住民や関係機関職員等	幼稚園	小学校	中学校
学校だより等に掲載して配布	2	19	10
地域の掲示板や地域の広報誌に掲載	0	1	0
直接説明する機会を設けている	1	5	9

今後の改善方策を公表	幼稚園	小学校	中学校
公表している	3	16	15
公表していない	1	5	4

外部アンケートの実施について

外部アンケート等の回答者	幼稚園	小学校	中学校
保護者	24	40	22
児童・生徒	0	38	22
地域住民や関係機関職員等	0	12	4

匿名性の担保	幼稚園	小学校	中学校
配慮している	23	38	22
配慮していない	1	2	0

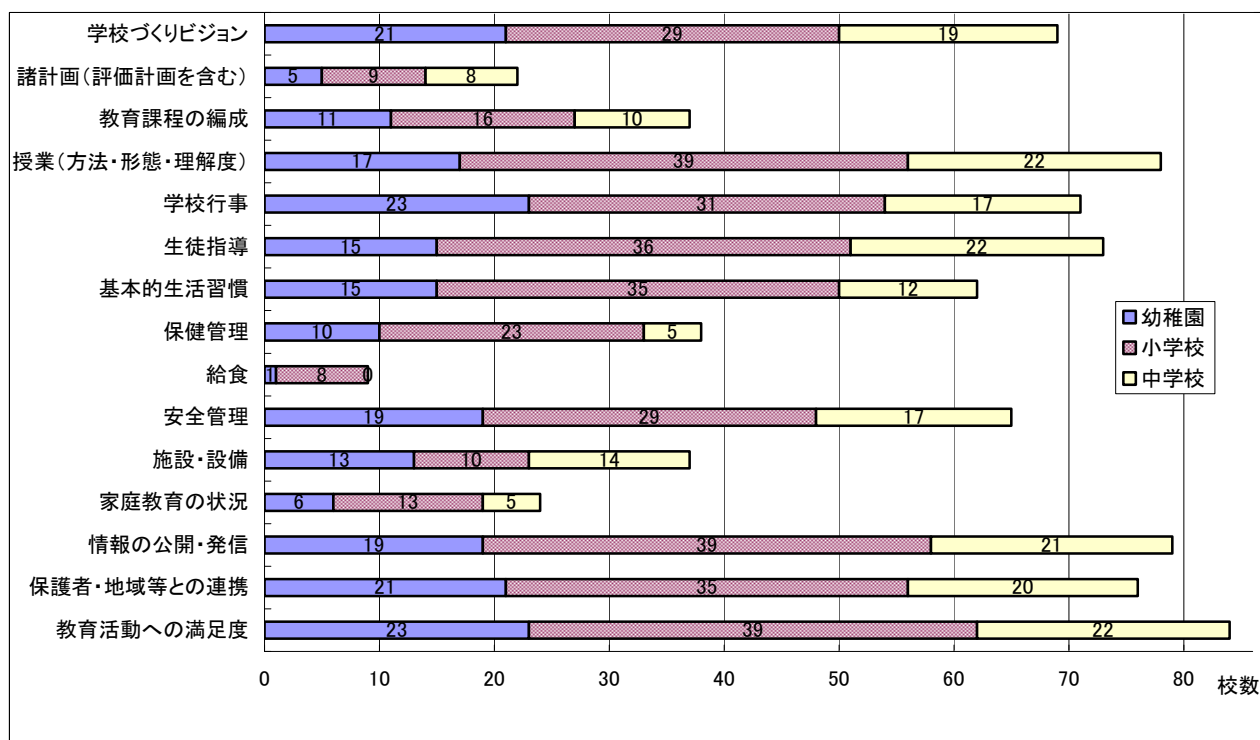
第4章 教育活動を支えるもの

○ 外部アンケートの調査項目について

※ グラフは、学校評価と情報提供の実施状況調査(平成18年度間)

文部科学省調査 対象：幼稚園24園、小学校40校、中学校22校

調査時期：平成19年12月



- ・ ほとんどの学校・園で「学校教育活動への満足度」「保護者・地域住民等との連携」について、アンケートが実施されています。
- ・ ほとんどの小中学校で「授業(方法・形態・理解度)」「情報の公開・発信」について、アンケートが実施されています。
- ・ 幼稚園では「園行事」について、小学校では「児童生徒の基本的な生活習慣」について、中学校では「生徒指導」「部活動」について、アンケートを実施している学校が多くなっています。

課題(今後の方向)

- 学校教育法施行規則において、自己評価の結果を公表することが義務付けられるとともに、学校関係者評価の実施が求められています。これらのことから、学校による自己評価及び学校関係者評価の具体的方法や公表のあり方等について、さらに学校の改善につながるよう引き続き検討していく必要があります。
- 児童生徒や保護者を対象としたアンケートをすべての学校が実施していますが、その際の集計・分析等に要する事務量にかんがみ、学校づくりビジョンの重点や評価項目等との関連を図り、目標等の設定・達成状況や取組について把握するための適切な項目となっているかを常に検討していく必要があります。
- 次年度より各小中学校に設置する「学校づくり協力者会議」において、学校関係者評価を実施していきます。この学校関係者評価の取組を通して、教職員や保護者、地域住民等が学校運営について意見交換し、学校の現状や課題意識を共有することにより、相互理解を深め、学校・保護者・地域が連携協力し、地域に開かれた学校づくりをさらに進めていくことが期待されています。